

キャラクターデザインを学ぶ本学大学院経営学研究科修士1年生が快挙 「日本キャラクター大賞 2017 学生部門」で「CBLA 賞」を受賞

文京学院大学大学院経営学研究科・喜多見康研究室に所属する麻生小百合さんは、6月28日、一般社団法人キャラクターブランド・ライセンス協会(CBLA)が主催する「日本キャラクター大賞 2017 学生部門」の「キャラクタービジネスの部」において「CBLA 賞」を受賞しました。

「日本キャラクター大賞 2017 学生部門」の概要

「日本キャラクター大賞 2017」は本年度で9回目を迎えたキャラクターおよびライセンスビジネス業界のアワードです。今年の日本キャラクター大賞グランプリには「ポケットモンスター」、日本ブランド・ライセンス大賞 グランプリは「マーベル」が受賞しています。

「日本キャラクター大賞 2017 学生部門」は、日本のキャラクタービジネスの次世代のプロデューサー・クリエイターの育成・支援を目的に、本年度初開催の学生を対象としたビジネス&クリエイティブコンテストで、「キャラクタービジネスの部」「クリエイティブデザインの部」の2つの募集部門がありました。

麻生小百合さんの作品「病院へ集合」について

今回受賞した麻生小百合さんは、イラストレーション、キャラクターデザイン、アニメーション制作について学ぶ本学大学院経営学研究科修士1年生です。今回「病院に集合」と名づけた作品を出品し、応募総数 322 点中 10 点のみ選出される優秀作品の中で「CBLA 賞」の受賞となりました。

作品「病院へ集合」は、病院に勤務する医師、研修医、看護師をモチーフにしたキャラクター8体と、そのキャラクターを活用したビジネス展開の企画です。それぞれのキャラクターは、患者の命を救うため仕事に真剣に取り組む顔と、仕事以外で見せる顔のギャップを表しています。麻生さん自身の経験から「子どもや若年層の長期療養には、医師や看護師らと心理的に良好な関係が築けるかが重要」という問題意識があり、医療従事者を患者に親しみやすいようキャラクターアイコン化し、アニメーションや絵本制作、院内掲示や薬袋など印刷物への展開を企画しました。

今回の受賞を受けて、麻生さんは「このたび、『CBLA 賞』をいただき、とても嬉しく思います。私はいつも、自身の実体験や日々の喜怒哀楽から作品制作の原動力やアイデアを得ています。自身が経験した病弱だった過去の日々を作品に落とし込んだように、今後も自分にしかない観点や表現方法を模索していきたいです。」と喜びと抱負についてコメントしています。



受賞作品「病院に集合」
キャラクター



CBLA 賞の賞状

< 文京学院大学について >

1924年、創立者島田依史子が島田裁縫伝習所を文京区に開設。教育理念「自立と共生」を根源とする先進的な教育環境を整備し、現在は、東京都文京区、埼玉県ふじみ野市にキャンパスを置いています。外国語学部、経営学部、人間学部、保健医療技術学部、大学院に約5,000人の学生が在籍する総合大学です。学問に加え、留学や資格取得、インターシップなど学生の社会人基礎力を高める多彩な教育を地域と連携しながら実践しています。